



かしわの

No 501 (8.9月号)
令和4年 8月29日
調布市立柏野小学校
校長 浅野

正 臣

<http://www.chofu-schools.jp/kasiwano-sho> [mail:kasiwano-sho@chofu-schools.jp](mailto:kasiwano-sho@chofu-schools.jp)

「夏の終わりに…」

校長 浅野 正臣

今年の夏は「猛暑日」や「酷暑日」という言葉を何度聞いたことでしょうか。それほど危険な暑さが続く毎日でしたが、夕方になると少しだけ涼しさが感じられる時間も出てきました。私は、この時間が心地よく感じられる中で、ゆるやかな風を受けながら「これまでの夏」を振り返ってみました。

自分が小学生の時を振り返ると、この時期はやりたいことややらなければならないことを頭に浮かべつつも、何もしないで時間が過ぎていったような気がします。私はテレビ世代なので、テレビを見る時間が多かったのですが、今もテレビを見る習慣があります。その中で、この夏特に印象に残ったことがありました。

それは、漫画を紹介するコーナーで「天才」についての話が上がっていました。その時にオリンピックのメダリストが『天才と言われている人がどれほどの努力をしているかを私は知っています』と話され、その努力を目の当たりにしている人ならではの迫力を感じました。

また、夏休みの宿題（課題）について話題になっていました。読書感想文の書き方や、書写のお手本などが購入できるサイトがあることや、完成品の出品はしないようにと文部科学省が合意文書を結んでいることが取り上げられていました。

本校の宿題の内容は、それほど児童にとって負

担になるものではないと考えていますが、お子様の様子を見られているご家族から見てどうでしょうか。同時に、夏休みの宿題というものが、世代をこえた夏休みの風物詩になっていることも感じました。宿題は必要ないのではないかという考えもありますが、ある意味受け継がれているものであり、同時に常識を変えていくことの難しさも感じました。

テレビから離れて、一冊の絵本を読みました。ライオンが別のライオンの偽情報を流してそれが広まっていくという内容です。ある動物が「自分はただ、言われたことを伝えただけだけど…でも、何か一つでも自分で確かめたかな…」とつぶやきます。

今年も、私は、自分が思うような過ごし方はできませんでしたが、これから自分で気を付けていきたいことや児童に伝えていきたいことに気付くことができました。

本校の教職員も、それぞれの時間を過ごし、2学期に臨む準備をしました。また、児童にとって夏休みは、学校から最も長い時間離れていた期間です。このことを十分考慮しながら、2学期をスタートさせていきます。引き続き、ご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

〈高学年算数少人数担当について〉

2学期より、XXXXXXXXXX 教諭が、担当しますので、どうぞよろしくお願いいたします。4面に自己紹介がありますので、ご覧ください。